シリーズ あいあいファーム わ・は・わ田尻 第15回

皆さん、こんにちは。わ・は・わ田尻です。暖冬の影響から豚にとっては過ごしやすい日々が続いておりますが、今年の夏が冷夏にならないかと心配が募ります。ひなた農場では新しい職員を迎え、新体制にて日々業務に努めております。

さて、今回は肥育舎のお話です。肥育の豚は約1,200頭、分娩舎・離乳舎で育成された仔豚（日齢約80日、体重約35kg）を出荷（日齢約180日、体重約115kg）まで約3か月育成します。給餌は肥育舎への導入直後から約2週間は飼料メーカーの飼料を給餌しますが以降、徐々に自家配合の餌に切り替え、出荷1か月前からは自家配合の餌のみを給餌します。

ひなた農場の肥育舎は給餌（飼料メーカーの飼料に限る）・空調・換気・除糞等、センサーやタイマーにて自動で行われます。まずはそれらがいつでも豚にとって良い環境になり得るように作動させなければなりません。人の手による設定ミスや機械の不具合・故障は、その豚舎（ひなた農場には肥育舎4棟あり、1棟約400頭飼育）内すべての豚に影響を及ぼします。餌ラインが止まれば豚に餌が行き渡らず、空調が適切に作動しなければ豚舎内の温度が異常に上がりもしくは下がり、換気・除糞が適せずでなければ空気が淀み豚の呼吸器系に異常をきたします。それらには即時対応・即解決が求められます。『明日やればいいや』という人間の都合は豚には通用しません。肥育舎の管理はとても重要になります。豚を通して、または自身で感じて、豚が活き活きと過ごせる環境を設けかつ継続し続ける事が求められます。

次回はひなた農場での利用者さんの作業についてお話します。

あいあいファームわ・は・わ田尻　管理者　大内　芳裕

農福連携 わ・は・わ南郷

わはわ南郷では、美里町のイチゴ農家である佐々木貞美さん・慶悦さんと共に、土づくりにこだわった安心安全でかつ、完熟取りならではの美味しいイチゴを、約半年間あいコープみやぎ様へ出荷しております。現在イチゴを実らせているハウスの苗は、一昨年の 11 月から昨年の 8 月まで専用ハウスで育てたものです。この苗作りにおいても、佐々木さんと連携協力関係を築いており、今シーズンは数千本もの苗を提供していました。来シーズンの苗作りもすでに始まっていますが、引き続き佐々木さんから協力要請を受けており、今後も責任感を持ちながら毎日管理してまいります。

2023 年 11 月 24 日から収穫を開始し、同月 29 日の初出荷から 2024 年 1 月 28 日現在まで、予想以上に出荷量を伸ばすことができており、おかげ様で売れ行きも好調で、例年以上に忙しいですが利用者さん共々、日々やりがいを感じながら作業に励んでいます。振り返ると、今シーズンは育苗期の異常な暑さの影響で開花が例年より 2 週間ほど遅れましたが、その後の生育はイチゴ栽培を始めて以来、最も順調に経過しています。病害虫に関して、出荷開始期にアブラムシによる被害が多かったものの、最重要課題であった萎黄病（いおうびょう）をほぼ克服できたことが一番の成果です。昨夏、あの異常な暑さ、さらに暑いハウス内で太陽熱消毒処理を実施した甲斐がありました。現状の要因は、結局のところ「暖冬」であることは間違いありませんが、全ての努力が実を結んだとポジティブに捉えて、シーズン中盤以降も、わはわ南郷のイチゴで笑顔を届けられるよう、利用者の皆さんと一緒に頑張って参ります。

《収穫の様子》

わ・は・わ南郷　池添　航

理事会報告

2023年12月15日に2023年度第4回理事会が行われた。
主な議題と討議内容は以下の通り。
≪2023年度第4回理事会≫
●2023年度補正予算について、事務局より説明がなされ承認された。
●社会福祉法人みんなの輪の規則、規程の一部改定について、事務局より説明がなされ承認された。
●車両の譲り受けについて、事務局より説明がなされ承認された。

輪アート

所属：パン工房わ・は・わ
ペンネーム：ちいたら
タイトル：鬼と恵方巻

所属：わ・は・わ宮城野
ペンネーム：アキラ
タイトル：トモダチコレクションの鏡

後援会ニュース

２０２４年　新たな年を迎えました

― みんなの輪後援会　会長挨拶 ―

日頃よりみんなの輪への温かいご支援をいただき心より感謝いたします。

1月1日に能登半島地震が発生し、被災地では、今もなお厳しい避難生活を余儀なくされています。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

みんなの輪では、被災地に職員約２０人を派遣することにして、障がい者施設等の支援活動を行う予定と聞いております。

東日本大震災から１３年を迎えます。全国各地で地震災害が発生し、東日本大震災の教訓が生かされていたのか、現実を直視しなければなりません。地震災害により高齢者，障がい者、子どもなど支援を必要とする人への対応に多くの課題があります。そうした中、日常生活において、地域の支え合い、つながりコミュティが強い地域ほどいのちが救われています。

社会福祉法人みんなの輪の理念である「障害のあるなしに関わらず誰もが安心して暮らせる地域社会をめざして」は、災害からすべての人の命を守る原点ともいえる大切なことではないでしょうか。県内各事業所では、利用者さんが地域の中で働き安心して暮らすために、地域のみなさんのご協力をいただき活動を行っています。新たな事業展開に向けて準備を進めています。

今年もみなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「みんなの輪」後援会長　ゆさ　みゆき

～～～～後援会へのご協力ありがとうございます～～～～

♬ 11月1日から12月31日までの間、個人会員４名の方々より会費のご協力をいただきました。ありがとうございました。 ♬

後援会会員募集

「みんなの輪」後援会では社会福祉法人みんなの輪を一緒に継続して支えて下さる後援会員を募集しています。後援会員の方には、授産品と広報誌をお送りします。ご協力の程、よろしくお願い致します。

●法人会員　1口　２０，０００円
●個人会員　1口　　３，０００円（何口でも構いません）

会　員（個人・法人） → ・みんなの輪製品の贈呈 ・広報誌

※お振込みは郵便局にてお願いします。
●加入者名：「みんなの輪」後援会
●口座番号：０２２６０－８－６０８５８
※専用の振込用紙もご用意しております。
事務局（わ・は・わ大衡内 電話０８０－２２０５－１８２０）までご連絡ください。

あいコープみやぎの組合員の方へはOCR注文書でもカンパを受け付けております。特別企画欄に下記の注文番号と口数をご記入ください。
●注文番号：０００８８８　1口　２００円（何口でも構いません）
ご協力の程、よろしくお願い致します。